

令和5年度の活動案

- ① パワーアシストスーツのフォローアップ
- ② XR技術（視覚拡張技術）の調査
- ③ ドローン技術の実証実験

各技術の目的

建設現場における生産性向上を目的に、人間拡張技術である下記3技術を建設現場等で戦略的に活用することで、現場作業員の身体負担の軽減、視覚の補助、点検・巡視作業の効率化を実現

○パワーアシストスーツ（PAS）

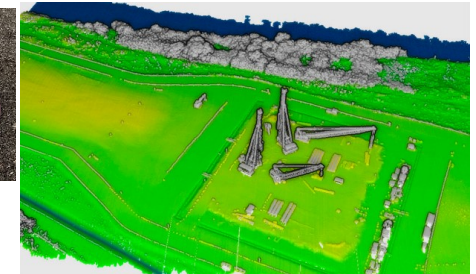
- ・パワーアシストスーツの利用により、人力作業における身体的負担を軽減する

○XR技術（視覚拡張技術）

- ・XRによる視覚の補助により、若手技術者に不足している経験や技能を補い、作業を支援する

○ドローン技術

- ・長時間飛行ドローンの実用化により、災害時の現場確認や平時の巡視活動を代替する

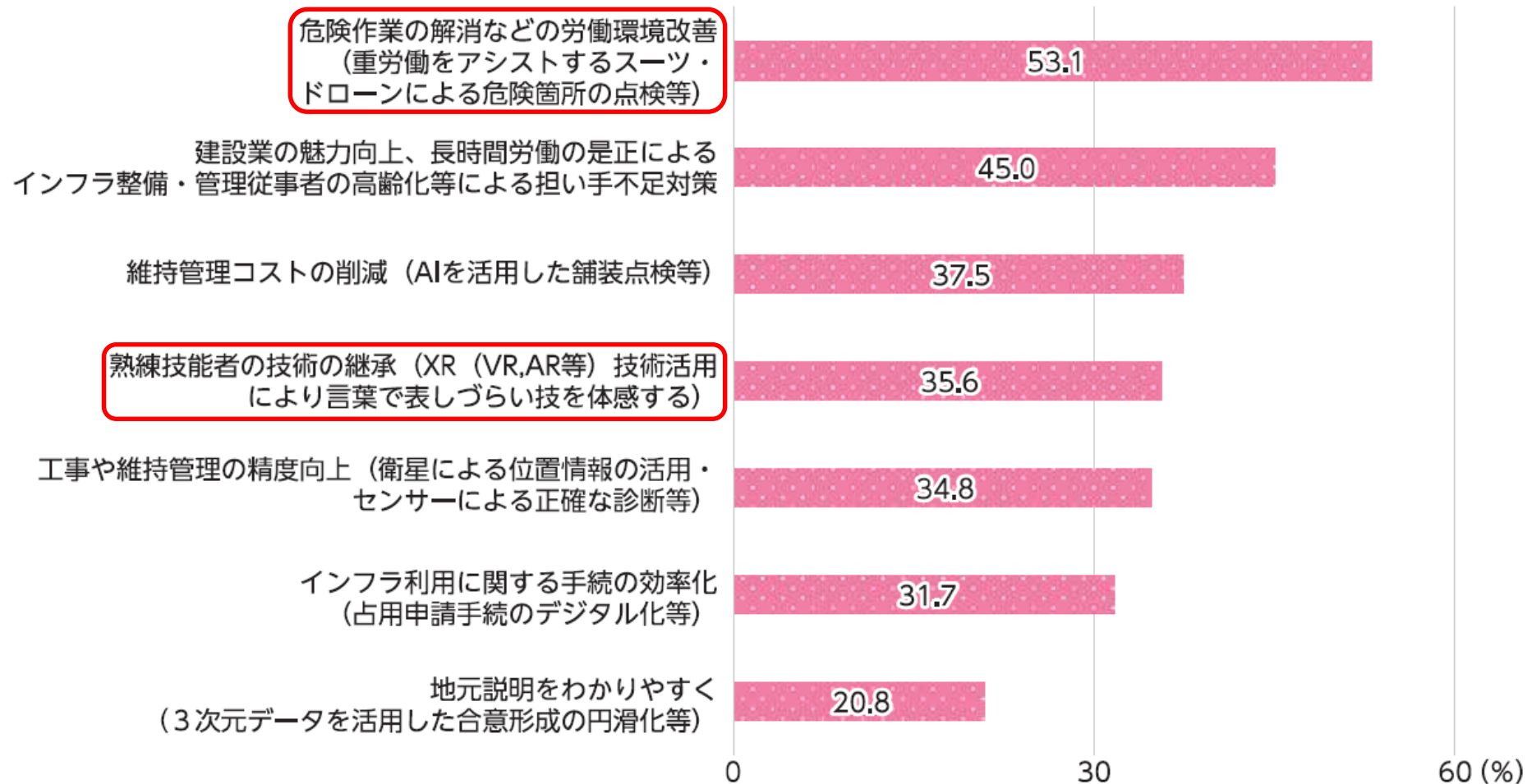


パワーアシストスーツ

XR技術

ドローン技術

図表 I-1-2-11 「インフラDX」の推進にあたり優先して解決すべき課題



(注) n=3,000 人の複数回答
資料) 国土交通省「国民意識調査」

人間拡張技術ロードマップ(案)

各要素技術について、直轄工事での現場で試行しながら課題点を抽出。
抽出された課題点を適宜フィードバックすることで、商品改良等や現場普及を促し、生産性向上へ繋げる。

